

一
ピ
ル
マ
方
面
部
隊
(
そ
の
二
)

-1-

1697

山砲兵第四十九連隊				年	月	日	略	歴
昭和一九	五	二	七				軍令陸甲第五九号に依り山砲兵第四十九連隊編成下令	
	六	一	七				編成完結（京城および龍山）	
	六	一	八				南方派遣のため京城出發	
	七	二	一				釜山港出帆	
	八	二	〇				同日南方総軍司令官の隷下に入る	
	八	二	一				仏印カムラン入港	
	一	〇	一				敵潜水艦のため雷攻撃を受け同港沈没 同日海軍警備隊に収容	
	一	〇	一				泰面国境通過	
	一	〇	一				ラヤンレビン着	
	一	〇	一				断作戦参加	
	一	〇	一				第一防管区の警備	
	二	一	一				エナンジョン地区の戦斗参加	
	二	一	一				転進のためカンドウン出發	
	二	一	一				シットタン河渡河	

	九 五	チ ン ゼ イ 着
二 一	六 二 六	内 地 帰 還 の た め モ ー ル メ ン 出 帆
	七 一 二	大 竹 港 上 陸
	七 一 四	復 員 完 結

第三十一師団兵器勤務隊

年	月	日	略	歴
昭和	一八	四二五	軍令に依り編成下令	
	一八	四三〇	編成完結(ラングーン)	
	一八	四三〇	緬甸集結	
	一八	三二〇	緬甸防衛並に次期作戦準備	
	一八	三〇三	「ウ」号作戦九号作戦並に次期態勢移行のため作戦	
	一九	二一八	緬甸国境通過	
	一九	三一八	緬甸国境通過	
	一九	六二五	啓作戦	
	一九	一九六	「イラウジ」河畔会戦並に「メイクテラ」附近会戦	
	二〇	〇〇九	克作戦	
	二〇	〇〇九	「サルウイン」河孟防衛作戦	
	二〇	〇〇九	停戦	
	二〇	〇〇九	ラングーン出發	
	二〇	〇〇九	宇品上陸	
	二〇	〇〇九	復員	

第三十一師団第二野戦病院

年	月	日	略	歴
昭和	一八	三		軍令陸甲第二十四号に依り第三十一師団第二野戦病院編成下令
		四	九	歩兵第六連隊補充隊に於て編成完結
		五	二六	名古屋出發
		五	二七	宇品港出帆
		六	二二	西貢上陸
		七	三〇	盤谷着
		八	一五	泰馬來国境通過
		八	一六	フライ着同日彼南進駐
		八	二九	彼南出帆
		九	三	蘭貢上陸
		一〇	五	シットサウク進駐病院開設業務同地警備並に對空戦斗
		一九	一五	病院閉鎖
		三	三	ウ号作戦参加のためシットサウイ出發
		三	二九	チンドウイン河渡河

至自	至自	至自	至自	至自	至自	昭和一九
	二〇	二〇	二〇			四一
	三	三	三			四二
四三	三	三	三	九	八	四二
一八	二六	九	四八	二九	二七	二
						緬印国境モーレー通過
						印度国コヒマ県キクヘマ着
						シンガヘメイ進駐
						シンガヘメイ野戦病院開設業務
						シンガヘメイ出發
						印緬国境フミネ通過
						フミネ患者療養所開設業務
						フミネ出發
						千河渡河
						サガキン着同地警備並に對空戰鬥(自昭和十八年十月一日至昭和十九年九月十二日間)
						ウ号作戦次期態勢移行の為めの作戦に参加)
						第百七兵站病院サガキン患者療養所繼承野戦病院開設業務
						昭和十九年軍令陸甲第一五五号に依り部隊編成改成
						盤作戦参加
						ワッチェ挺進野戦病院開設業務
						サガイン出發
						ダウエン到着
						ダウエン野戦病院開設業務

第十八師団第二野戦病院

昭和	年	月	日	略	歴
一三	一	二	二	軍令に依り編成下令	
一三	一	二	二	編成完結(久留米)	
一三	一	二	二	門司港出發	
一四	一	二	二	バイアス港上陸	
一四	一	二	二	間翁英作戦参加	
一四	一	二	二	広東黃埔出發	
一四	一	二	二	英領馬來コタバル附近上陸	
一四	一	二	二	コダバル附近の上陸戦斗並に飛行場攻略戦斗に参加	
一四	一	二	二	クアラクライ附近の戦斗に参加	
一四	一	二	二	クワントン附近の戦斗に参加	
一四	一	二	二	クワントン附近の警備に従事	
一四	一	二	二	部隊追及馬來半島肅正工作並に緬甸転進	
一四	一	二	二	昭南港出帆	
一四	一	二	二	蘭貢上陸	

